



東海3県初の試みを含む「伊勢市くらしの便利帳」を発刊・配布

市と株式会社サイネックス（本社：大阪市）は、行政や地域の情報など市民の暮らしに役立つ情報をまとめた冊子「伊勢市くらしの便利帳」を共同で発刊し、配布を開始します。

■ 6年ぶりに新規発刊

前回は「伊勢市市民便利帳」として平成 25 年に発刊。
配布が完了し、その後の制度改正など広範囲にわたる修正が必要となったことと、新規発刊に関する問い合わせも多くなってきたことから「伊勢市くらしの便利帳」として親しみやすい名称にあらため、発刊。



■ 事業者を公募、冊子掲載の広告収入で制作

発刊・配布にあたり、経費は全て広告掲載の収入で賄うこととし、広告営業、紙面作成、配布業務が対応可能な事業者を公募（事業提案募集）し、株式会社サイネックスと共同で発刊。

■ 東海3県初の試みを含み、紙面内容を全面刷新

前回の便利帳よりさらに親しみやすく、伊勢らしく、ずっと手元に置いておきたくなるように、次の①～⑤のとおり全面刷新。



- ①表紙は、きめ細かなインデックスタグ項目の導入により、検索性・使いやすさを向上【表紙】
- ②近年の全国各地での度重なる災害の発生と南海トラフ地震の発生が想定されるため、防災特集を巻頭に掲載【8～21 ページ参照】
- ③東海3県初！ 皇學館大学の学生と一緒に、まちに興味を持ってじっくり読むことができる地域情報ページ（表紙を含む）を次のA～Cのとおり企画・編集
 - A. 全ての世代の人に親しみやすく、使いやすい表紙となるよう、全体デザインの選定と伊勢うどんなどのアイコンをピックアップ
 - B. 伊勢の食材、お祭り・イベントページの企画選定【27～29 ページ参照】
 - C. 大学の取り組みと市の事業を合わせて紹介するページを作成【32・33 ページ参照】
- ④東海3県初！ 伊勢志摩定住自立圏に基づき、となりまち7市町（鳥羽市・志摩市・玉城町・度会町・大紀町・南伊勢町・明和町）のお出掛け情報を掲載【30・31 ページ参照】
- ⑤紙面全体にユニバーサルデザインフォントを採用。加えて、色覚などに障がいのある人に、モニターとしてご意見をいただき、紙面へ反映。また、色覚障がいのある人の見え方へ紙面を色変換し、見づらい箇所がないか確認しながら紙面編集

伊勢市くらしの便利帳

- ・発刊部数：59,500部（市内全戸配布と転入者向け〔3カ年程度〕）
- ・配布：転入者向け窓口配布開始（12月23日）、市内全戸への配布（令和2年1月6日～）
- ・様態：オールカラー・全148ページ
- ・1月下旬から、インターネットで電子書籍として閲覧可能予定【114 ページ参照】